令和５年４月１日

令和５年度　東京都立葛飾総合高等学校　学校経営計画

東京都立葛飾総合高等学校長
中村　直樹

第１　目指す学校

１　教育目標

本校は、人間尊重の精神を基盤として、心豊かに、たくましく生きる生徒を育てるために、以下の育成に向けた教育を推進します。

ア　社会の変化に主体的に対応し、時代を切り拓いてゆく豊かな創造性と個性をもつ生徒（創造）
イ　自らの在り方生き方を考え、明確な目的意識をもって意欲的に挑戦する生徒　（立志）
ウ　思いやりのある心と規範意識を身に付け、高い知性をもつ社会に貢献できる生徒　（貢献）

２　校訓

進取創造…自ら進んで物事に取り組み新しいものを初めて作り出す
自主自律…自ら立てた規範に従って、自ら厳しく行動する強い気持ち

３　スクール・ミッション

人間尊重の精神を基盤として、心豊かに、たくましく生きる生徒を育てるために、「創造」「立志」「貢献」を教育目標とし、「進取創造」「自主自律」の校訓に基づいた教育を行い、地域との連携を図りながら、生徒の総合的な学力を育み、自ら自己の資質・能力を最大限に引き出す生徒を育成します。

４　スクール・ポリシー

(1)　グラデュエーション・ポリシー

「進取創造」「自主自律」の校訓に基づいた教育を行い、授業、学校行事および地域連携を通して【葛総力】を育成します。【葛総力】とは、本校が考える総合的な学力のことであり、次のような資質・能力のことです。

コミュニケーション力、プレゼンテーション力、課題対応力、情報収集と分析力、思考力、判断力、表現力、積極性、主体性、協働性、計画性、柔軟性、創造性、責任感など

(2)　カリキュラム・ポリシー

葛総力の育成を目指して次のような教育活動を実践します。

ア　自分を探求し自分の将来像をデザインするための「自分のコア（芯）」をつくることを目的に、１，２，３年次のキャリアコアタイム（週１～２時間）を活用して、調査研究や探究活動、発表などを行います。
イ　自分の強み（専門性）を高め、希望進路を実現するために、１２０を超える選択科目の中から自分だけの時間割を作成して学習します。
ウ　視野を広げ、学びを深めるために、授業はもちろん葛希祭（文化祭）、葛飾アントレ、中高交流事業、修学旅行、課題研究などの様々な活動を地域や外部機関と連携して行います。

(3)　アドミッション・ポリシー

本校の校訓「進取創造」「自主自律」を理解し、総合学科の特色を生かした教育活動に意欲的に取り組み、希望進路の実現を目指す、次のような生徒の入学を期待します。

ア　向上心があり、自らの個性や能力の伸長に強い意欲をもっている生徒
イ　生徒会活動、委員会活動、部活動、学校行事などへ積極的に参加した経験があり、今後の活躍が期待できる生徒
ウ　得意とする教科で優れた能力をもち、今後もその分野へ意欲的に打ち込む生徒
エ　ボランティア活動、地域活動などへ積極的に取り組み、今後の活動に期待できる生徒

第２　中期的目標と方策

１　生徒自らの個性を生かした主体的な学習を通して、学ぶことの楽しさや成就感を実感させ、学習に対する意欲を形成する。（学習指導）

２　生徒一人ひとりに個性・能力を発見させるとともに、働くことや学び続けることへの意義を理解させ、生徒がチャレンジ精神をもって「自分探しの旅」「自分づくりの旅」に取組み、より高い希望進路を目指す指導内容を整備し実践する。（進路指導）

３　授業、学校行事、部活動、奉仕活動等、すべての教育活動を通して、豊かな人間性を育てつつ、自主自律の精神を育むとともに、自らの可能性を追求する教育活動を実践する。（生活指導）

４　学校行事や部活動において、生徒に集団の中における役割を自覚させ、他と協力して目標を達成することのできる態度を育成する。（特別活動・部活動）

５　地域と共に実践する教育活動を通して、生徒が社会の中での役割を自覚し、社会に貢献しようとする意欲を育成する。（学校経営）

６　教育に対する強い使命感と責任感をもとに、教職員が一体となって組織的・計画的な教育活動を展開し、主体的・対話的で深い仕事の実現を目指す。（学校経営）

第３　今年度の取組み

１　学習指導

興味関心をさらに深める学習を通して、希望進路実現に必要な学力の向上を目指す。

(1)　学習意欲の向上、探究心の醸成

ア　主体的・対話的で深い学びの充実

イ　観点別学習評価の活用による授業のさらなる活性化

ウ　意欲を伸ばす土曜講習・夏期講習等、各種講習の活性化

エ　資格取得の奨励

オ　基礎学力向上、学習習慣定着のための工夫

(2)　総合的な学力【葛総力】の育成

ア　課題研究発表会、学習成果発表会、調査研究・探究活動、発表などの充実

イ　学校行事や地域連携による体験的な学習機会の提供

ウ　図書館の活用、読書活動の推進

(3)　授業満足度の向上

ア　すべての科目で授業評価アンケート活用による授業改善

イ　校内研修、教科会、葛総若手教員授業塾、相互授業参観などの活性化

ウ　一人１台端末、ICT 機器等のデジタル技術の有効活用

(4)　課題研究の指導内容・方法の改善

ア　生徒の興味関心、希望進路、進路実績の分析を踏まえた指導内容・方法の改善

イ　系列・専攻の特色を踏まえた指導内容・方法の改善

【数値目標】

すべての科目の授業評価アンケートにおいて、「もっと学習したくなる授業」：９０％

すべての科目の授業評価アンケートにおいて、「課題や小テストを含め授業に対してしっかり準備をして、主体的に授業に臨んでいる」：９０％

２　進路指導

生徒一人ひとりの可能性を最大限に引き出し、希望進路の実現を支援する。

(1)　キャリア教育の充実

ア　キャリア・コア、学習成果発表会、課題研究発表会の指導内容・方法の研究・改善

イ　葛飾区との連携事業、中高連携事業、高大連携事業、東京都総合学科高等学校教育活動成果発表会など、外部機関との連携内容・方法の研究・改善

ウ　キャリアカウンセラー、総合学科推進部を中心とした、より良い科目選択指導体制の構築

(2)　進路指導満足度の向上

ア　進路指導部を中心とした３年間の進路指導計画の改善

イ　高大連携、地域連携、企業連携等を活用した進路意識の啓発等、進路関係ガイダンスの充実

ウ　キャリア・パスポートの有効活用

エ　２者面談、３者面談の実施を中心とした、転退学防止も含む進路相談体制の充実

オ　担任と教科、進路指導部の連携によるきめ細かな進路活動支援

カ　進路実現の可能性を広げる一般受験指導、資格取得指導の推進

キ　朝学習、土曜講習、夏期講習の充実

【数値目標】

３年次生の進路活動に対する充実感：９０％

全学年の進路ガイダンスに対する充実感：８０％

ＣＣ１・２・３の授業に対する充実感：９０％

３　生活指導

「時を守る」「場を清める」「礼を正す」を基本とし、

豊かな人間性を育成する。

爽やかな挨拶で身近な人たちと心を温め合える環境を守る～挨拶はいつでもどこでも誰とでも～

(1)　生活指導統一基準に基づく規律正しい高校生活の定着

ア　学習環境の整備

イ　美化活動の推進

ウ　時・場に応じた身だしなみを身につけさせる

エ　保護者と連携した組織的な遅刻予防策

オ　朝学習の有効活用

カ　葛総キャンペーン、ノーチャイム制、挨拶運動等の定着

キ　東京都統一体力テストの円滑な実施、テスト結果を活用した体力の向上

(2)　安心・安全な学校づくり

ア　体罰の禁止・根絶

イ　いじめの未然防止・早期発見・早期対応

ウ　SOS の出し方に関する教育の推進

エ　スクールカウンセラーの有効活用

オ　外部機関との連携　　カ　健康講話の実施

キ　地域と連携した防災教育、防災活動の推進

(3)　特別支援教育の推進

ア　教育相談体制の整備

イ　校内研修の充実

(4)　特別活動・部活動の充実

ア　生徒主体の学校行事、生徒会、部活動等の実現のための支援強化
イ　生徒会、委員会による学校運営への参画意識醸成
ウ　地域連携活動を活用したボランティアマインドの育成
エ　ＨＰ等による生徒の活動・活躍情報の発信

【数値目標】
学校行事満足度：各行事で８０％
部活動充実度：９０％
校内美化活動への貢献度：８０％
ＨＰ等による生徒活動の発信：全部活動年３回以上
挨拶の多い学校だと感じる（生徒）：８０％
１クラス１日平均遅刻者数：１人未満

４　学校経営
生徒、教職員の笑顔があふれる学校を目指して

(1)　主体的・対話的で深い仕事の推進
ア　葛総力を活用した学校運営
イ　ビジネスコミュニケーションの充実
ウ　ボトム・アップ、ミドル・アップダウンの組織文化の醸成
エ　前例にとらわれない挑戦的・革新的な仕事への取組み推進
オ　授業力向上のための研修、相互授業参観等の充実

(2)　行政感覚を生かした学校運営の推進
ア　予算の適正な執行管理
イ　丁寧できめ細やかな窓口対応
ウ　経営企画室と職員室の連携強化
エ　個人情報の適切な管理の徹底

(3)　社会に開かれた学校づくり
ア　在校生保護者への情報提供の充実
イ　地域貢献活動の推進
ウ　中学生及びその保護者への広報活動の充実
エ　海外の高校生訪問の積極的受入等による異文化交流機会の充実
オ　地域住民参加型授業の開発・実施

(4)　ライフ・ワーク・バランスの充実
～教職員が楽しみながら仕事に向き合える雰囲気づくり～
ア　年間１５日以上の休暇取得奨励
イ　すべての職員の育児休業取得奨励
ウ　話し合い、笑い合い、励まし合い、感謝し合える職場づくりの推進

【数値目標】

生徒、保護者	葛総に入学して良かった：９０％
地域	葛総の生徒は楽しそうに学校に通っている：８０％
教職員	専門分野を活かした地域・企業・上級学校との連携活動：一人一連携以上
	充実した一年を過ごした：８０％